

# 梅の里



## 1学期が終了しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、休校・分散登校・簡易給食・行事の見直し・毎朝の健康チェックと消毒…等々、例年とは全く違う1学期を過ごしてきました。改めて「友だちと学ぶ楽しさ」「友だちの大切さ」などを実感できたのではないのでしょうか。

夏休みについても「ラジオ体操中止」「地区 PTA 行事の中止」「プール開放中止」「期間の短縮」と、例年とは全く違う様相となりそうです。現在、再び感染が拡大し、ここ上伊那でもさらに気を引き締めなければならない状況です。夏休み中を含め、健康チェックカードを継続しますので、ご協力をお願いします。

休み中も健康チェックカードの記入をお願いします。「県外に…」というチェック項目がありますが、直近の感染状況を考慮し、加えさせていただきました。なお、8月17日（2学期始業式）は、念入りに健康チェックを行ってください。初日はどうしても無理をしてしまう傾向にあります。いつもと違う緊張感もあります。微熱や頭痛、鼻水、倦怠感などがあればお家で過ごしていただくようお願いいたします。



大雨による学年別下校（4年）

スイミーの世界を絵に（2年）



1年生と6年生の交流は、今年はクラス単位（小規模）で行っています。

児童会の心得を真剣に聞く5年生



### 通知票の「出欠席」について

4月30日（1. 3. 5年生分散登校）と5月1日（2. 4. 6年生分散登校）について。

★1. 3. 5年生については5月1日を「出席停止」、2. 4. 6年生については4月30日を「出席停止」扱いとします。

★また、コロナ感染が不安で欠席した場合、本人や家族の体調が優れずコロナ感染を疑い欠席した場合、それら全てを「出席停止」扱いとしています。

→出欠の数など、システム上、現段階では正しく表示されていない場合があります。2学期以降に修正します。

### 評価について

長雨により少ない学年では5回程度の水泳学習の時間しか行っていません。このような少ない授業で評価をすることはできません。通知表の「水泳」の欄は空欄または斜線となっております。

読書の評価については、図書館で借りた冊数を表記してあります。評価は借りた本の冊数の多少で行うものではありません。今年度は図書館の利用も制限されており、正しい評価ができないため、空欄または斜線としました。

### お知らせ

8月17日（月）二学期始業式 テレビ信州の取材が入ります。登校風景の撮影もあるそうです。

## 「不思議！！」がだいじ

新型コロナウイルスのために、4月6日の入学式後すぐの10日から休校、4月下旬の1日だけの登校と分散登校を経て、5月7日から通常登校となった1学期でした。休校中の登校日では、学校に来られることの喜びを感じたり、クラスの半分が登校する分散登校では友達の大切さを感じたりした皆さんが大勢いました。たくさんの行事が中止や延期となってしまい残念でしたが、ここまで皆さんや家族の方、誰一人としてウイルスにかかることなく来られたことをありがたく思っています。



始業式には椋鳩十の『人間はすばらしい』という話をしました。いろいろな制限がある中ではありましたが、クラス・学年、あるいは児童会などで、新しいことに挑戦する、みんなで力を合わせ何かを作り出す、命の重さを感じるなど、「人間ってすばらしいな」という活動をたくさんしてきました。皆さんが生き生きと活動する姿を見させてもらいました。

明日からは夏休みになりますが、夏休みに大事にしてほしいことについてお話します。

皆さんは、この1,000円札の上に100円玉をのせることができますか。平らにすれば誰でものせられますが、そうではなくお札を立ててこの細い部分にのせるのです。

では、やってみます。(手元を隠して)みごとにのせることができました。

きっと、「えー、どうして」「不思議！！」というような言葉が出たのではないのでしょうか。

皆さんはノーベル賞という賞を知っていますね。ダイナマイトの発明者として知られるアルフレッド・ノーベルという人の遺言で、1901(明治34)年から始まった世界的な賞です。物理学、化学など6分野で、すばらしい成果をあげた人に贈られます。日本人はこれまでに28人が受賞しています。

そんななかに、日本人で2番目にノーベル賞を受賞した朝永 振一郎さんという人がいます。その朝永さんは



「不思議だと思うこと、これが科学の芽です」

と言いました。そして、不思議だと思ったことをもとに、研究に研究を積み重ね、ノーベル物理学賞を受賞しました。

朝永さんは科学者だったので「不思議は科学の芽」と言いましたが、不思議と思うことはすべての「芽」になります。

皆さんの身の周りで不思議と思うことはいくらでもあると思います。例えば、筆箱だけでも

「筆なんか入っていないのになぜ筆箱と言うの」

「消しゴムはなぜ鉛筆で書いた文字を消せるの」

「黒い鉛筆は六角形が多いのに、色鉛筆はなんで丸いの」

など、不思議と思うことがあります。

このように「不思議」と思ったことは、本で調べたり、先生や友達に「どうして」と聞いたりしますね。これが本当の勉強であり、決して忘れることなく身につけていくのです。不思議と思うことは、「知識の芽」になると言ってもいいでしょう。

「不思議！！」がだいじ、「不思議は知識の芽」になります。明日からの夏休み、いつもより少し短いですが、不思議と思ったことを徹底的に調べてみるといいですね。そうすれば「人間ってすばらしい」と感じる事ができるし、「自分を好きになる 他人を好きになる 宮田を好きになる」ことにつながるはずです。宮小家族がよい夏休みを過ごすことを願っています。

最後になりましたが、お札にのった100円玉の種明かしをしましょう。

最初にお札を折ってその上に100円玉をのせます。それからゆっくりゆっくりお札を引っ張ってひろげます。100円玉には心がありませんが、落ちないように落ちないようにと自分から動いて、とうとう落ちずにすむようになるのです。これには、摩擦という力が関わっています。

だれでもできます。家でやってみて、お父さんやお母さんを驚かせてみてください。

【3年生 算数 「長さの計算ができるようになろう」】

前の時間の学習内容を、この時間の課題につなげる

宿題に出ていたこの問題が難しかったね。  
 $3\text{ km } 50\text{ m} = \quad \text{ m} ?$



え？ 1 kmは1000mだけど・・・ 3 km 50m？ なんかごちゃごちゃするなあ。

3500mじゃない？

え～何かおかしいなあ。

これ、わからなかった。

わかった人は、友だちに教えることにチャレンジ！

350mじゃないの？



1 kmは 1000mでしょ。  
 2 kmは？ 2000m  
 3 kmは？ 3000m  
 それに 50m足したら・・・  
 あっそうか。わかった！



3 kmは 3000mでしょ。あと 50mあるから百の位はないでしょ。だからゼロを入れるんだよ。「百の位がない？ どういうこと？」

自分と友だちの考えをつなげる



位のことが出てきたからみんなで考えてみようよ。  
 こうやって位を書いて・・・

千	百	十	一	
3		5	0	

3 kmは 3000mだから千の位は 3。  
 50mだから十の位は 5。

あっそういうことか。百の位がないってそういうことか。わかったよ。

それぞれの考えをつなげる

これがわかれば問題できるよ。

先生、教科書の問題やりたい！

新たな問いへのつながり

(前略)  $1\text{ km } 600\text{ m} + 500\text{ m}$  を角解いてみよう。



あれ？おかしいなあ。2 kmって答えじゃ何か変だな。もしかして・・・さっきのやり方でやってみよう！



やっぱり、さっきやった  $1\text{ km } 600\text{ m}$  を  $1600\text{ m}$  にしてから計算するんだよ。そうすればできるよ。



私、説明うまくできないけど発表してもいいかな。

最初に 600m と 500m を足すんだよ。それからね・・・

すごくわかりやすいよ。うまくできないなんてことないよ！私も同じやり方だよ。

既習事項がつながる

- ・教えてもらおうとよくわかる！
- ・みんなで考えるって楽しいね。
- ・説明って難しいな。
- ・発表をみんなが真剣に聞いてくれたよ。安心できるな。

「自分を好きになる」・・・今までできなかったことができるようになった自分  
 「他人を好きになる」・・・友だちへの感謝や、一緒に学習できた喜び。認められた喜びと自信。